

学校名	秩父市原谷小学校
所在地	秩父市大野原2991番地
電話	0494-22-0844

1 本校の概要

本校は、秩父市の北側に位置し、明治19年開校し歴史と伝統のある学校である。学級数23、児童540名で3クラス並行の小学校である。学校教育目標を「すすんで学ぶ子」「思いやりのある子」「体力のある子」の学校目標実現の為、学校図書館司書教諭補助員の配置により、整備や児童の読書習慣に努めている。

2 本校の実践

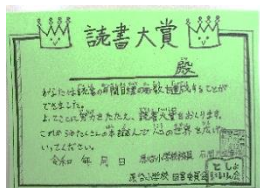
(1) 実践の視点

- ・ 図書室の正しい利用方法を定着させる
- ・ 学習に活用できるようにする
- ・ 読書に親しむ読書習慣の取組
- ・ 家庭や市立図書館との連携
- ・ 図書委員会の活動の充実
- ・ 司書教諭、司書教諭補助員を活用した取組

(2) 実践の概要

ア 年間読書目標の設定

学年に応じて年間目標冊数を定め、目標に向けて意欲喚起を行っている。達成した児童には、図書委員会が作成した「読書大賞」を校長先生より授与される。



イ 秩父市立図書館・学校サービスの利用

「朝読セット」の貸出を利用し、各学級においている。また、国語や総合など授業での関連図書の貸出も随時利用している。

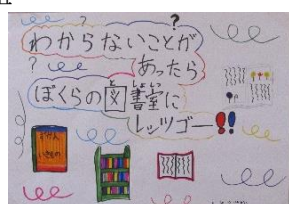
ウ ファミリー読書週間の実施

秋の読書週間にあわせ親子で30分本を読む、ファミリー読書週間を行っている。目標時間を設定し、家庭内でも読書の興味・関心を持たせるようにした。

エ 図書委員会活動の取組

- ・ ポスターの作成

同じキャッチフレーズ「ぼくらの図書室にレッツゴー」を用いて、ポスターを作成し校内へ掲示をした。



・ 放送図書の実施

先生のおすすめの本を取材し、週1~2回、給食の時間に、図書委員が放送を行っている。

オ 学校図書館司書教諭補助員の活用

年度始めには、図書室のオリエンテーションを実施(今年度はコロナウイルスの関係で1年生のみ実施)。また、各学年図書室に係る単位では、授業に沿った内容の説明などを行っている。単元に付随して、5年生で「本探しゲーム」を実施した。

カ 学校図書館の整備

- ・ 「えほんコーナー」

カウンターだった場所を新しく「えほんコーナー」に配置換えを



した。本が選びやすくなり、低学年から高学年まで好んで利用してくれる空間となった。

- ・ 先生のおすすめの本の掲示・展示

先生とおすすめの本を写真付きで掲示している。コーナーも設置し児童の関心を寄せるようにした。



- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策

返却された本はすべて消毒をしてから配架、貸出。貸出カウンター前や室内の机はソーシャルディスタンスを心掛けている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 教員と学校司書教諭補助員が連携することにより多くの授業で活用の幅が広がっている。

イ 読書の関心が高まってきている。

(2) 課題

ア 年間通して読書に関心をもてる企画を検討する。

イ 感染症防止と自由な貸出運営の両立を工夫する

(3) おわりに

児童・学級数が多い分できることも限られるが、本に慣れ親しむ環境作りを心がけている。今後は、ビブリオバトル、アニメーションなどゲーム感覚からアプローチをした活動を行うなど、さらに魅力ある図書室運営を行ってきたい。